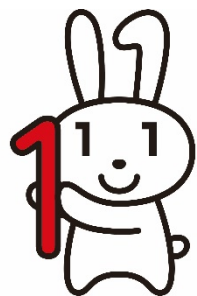


マイナンバーカード取得促進のための 先進事例集(その4)



マイナ
ちゃん

令和2年2月18日
総務省自治行政局住民制度課



マイキー
くん

目次

○出張申請受付

【企業等一括申請受付】

- P1. ①県庁、県教育委員会、県警察本部職員等を対象とした複数市町村による出張申請受付(和歌山県)
- P2. ②警察署・警察学校での一括申請受付(福島県福島市)
- P3. ③小中学校への出張申請受付(静岡県富士市)
- P4. ④自衛隊駐屯地での出張申請受付・出張交付(熊本県熊本市)

【商業施設・イベント等】

- P5. ①大型スーパーでの従業員と市民を対象にした出張申請受付(石川県加賀市)
- P6. ②大型商業施設での出張申請受付(兵庫県神戸市)
- P7. ③地元商業施設での出張申請受付、Twitter・facebookでの周知(和歌山県和歌山市)
- P8. ④イベントでの出張申請受付及び申請サポート(秋田県北秋田市)
- P9. ⑤イベント・地域活動での出張申請受付(長野県喬木村)

【病院・介護施設等】

- P10. ①区内最大規模の障害者支援施設での出張申請受付・出張交付(東京都杉並区)
- P11. ②市民病院での出張申請受付及び申請サポート(愛知県小牧市)
- P12. ③社会福祉協議会デイサービスでの出張申請受付・出張交付(高知県東洋町)

【学校等】

- P13. ①町内小学校における出張申請受付(福島県三春町)
- P14. ②大学生を対象にキャンパス内での出張申請受付・出張交付(茨城県つくば市)
- P15. ③高校3年生を対象とした市内高等学校での出張申請受付(長崎県五島市)

目次

【郵便局】

P16. ①開局30周年に併せた郵便局での出張申請受付(北海道登別市)

【公民館等】

P17. ①地区ごとに希望者を募り公民館で出張申請受付・出張交付(石川県加賀市)

P18. ②市内自治会館での出張申請受付(奈良県橿原市)

P19. ③コミュニティセンターでの出張申請受付(香川県高松市)

【その他】

P20. ①希望のある住民に対して出張申請受付(青森県横浜町)

P21. ②青色申告会場での出張申請受付(静岡県静岡市)

○申請サポート

【学校等】

P22. ①市内大学の新生生オリエンテーションでの申請サポート(宮崎県都城市)

【郵便局】

P23. ①郵便局での申請サポート(群馬県前橋市)

【その他】

P24. ①携帯ショップで待ち時間を活用した申請サポート(宮崎県都城市)

P25. ②市民まつりでの申請サポート(愛知県田原市)

P26. ③夏休み期間中の図書館及び博物館での申請サポート(神奈川県相模原市)

○県庁、県教育委員会、県警察本部職員等を対象とした複数市町村による出張申請受付の実施

1. 概要

- 県庁内に出張申請所を設置し、職員等のマイナンバーカードの取得を促進
 - 手書き申請書を使い、申請受付を実施
 - 後日、一部市町村が県庁内でのカード出張交付サービスを実施
 - 勉強会※事業の一環として、複数市町村の職員が赴き、出張申請所を共同運営
- ※ 勉強会とは、県と県内全市町村を構成員とし、マイナンバーカードの取得促進に係る取組や共同事業について提案・調整する場

2. 実施詳細・ポイント

① 職免に関する調整

- ・県人事課及び職員厚生室と協議し、職免の適用範囲について整理
- ・県教育委員会及び県警察本部に情報提供し、取扱について調整依頼

市役所等での
カード受取は除外

② 事前準備

- ・庁内出張申請所の利用方法について、文書・ポータルサイトにより周知
- ・県内市町村に対し、出張申請受付のスキル修得を目的として、参加依頼

申請要領・様式
等の事前送付

③ 申請受付(二日間)

- ・6市1町体制で受付を運営し、県担当者は、写真撮影補助等により支援(6市1町以外の住所地職員についても受付を実施)
- ・実施当日は、案内チラシ及び庁内放送により、来庁者にも申請を呼びかけ

役割分担により
負担軽減に寄与

3. 効果(実績)

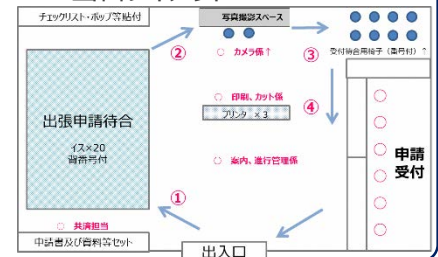
- 2日間、計360人(出張申請受付289人、申請サポート71人)から申請を受付
- 別途、県内振興局内に出張申請所を設置し、計382人から申請を受付

● 県内共通チラシ

● 申請受付の様子



● 当日レイアウト



○警察署・警察学校での一括申請受付の実施

1. 概要

- 市内の警察署や警察学校等へ市職員が出向き、一括申請受付を実施
- マイナポータル用端末を使用した**オンライン申請**
- 出来上がったカードは、**本人限定受取郵便**で交付

2. 実施詳細・ポイント

マイナンバーカード出張申請について、市WEBサイトでの広報や関係機関への訪問等、積極的な広報をおこなったところ、申込があったため実施。

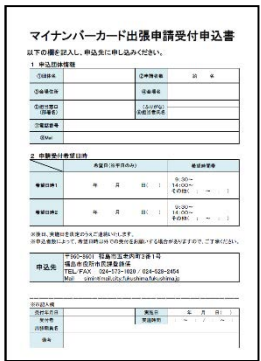
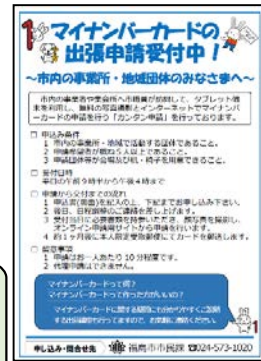
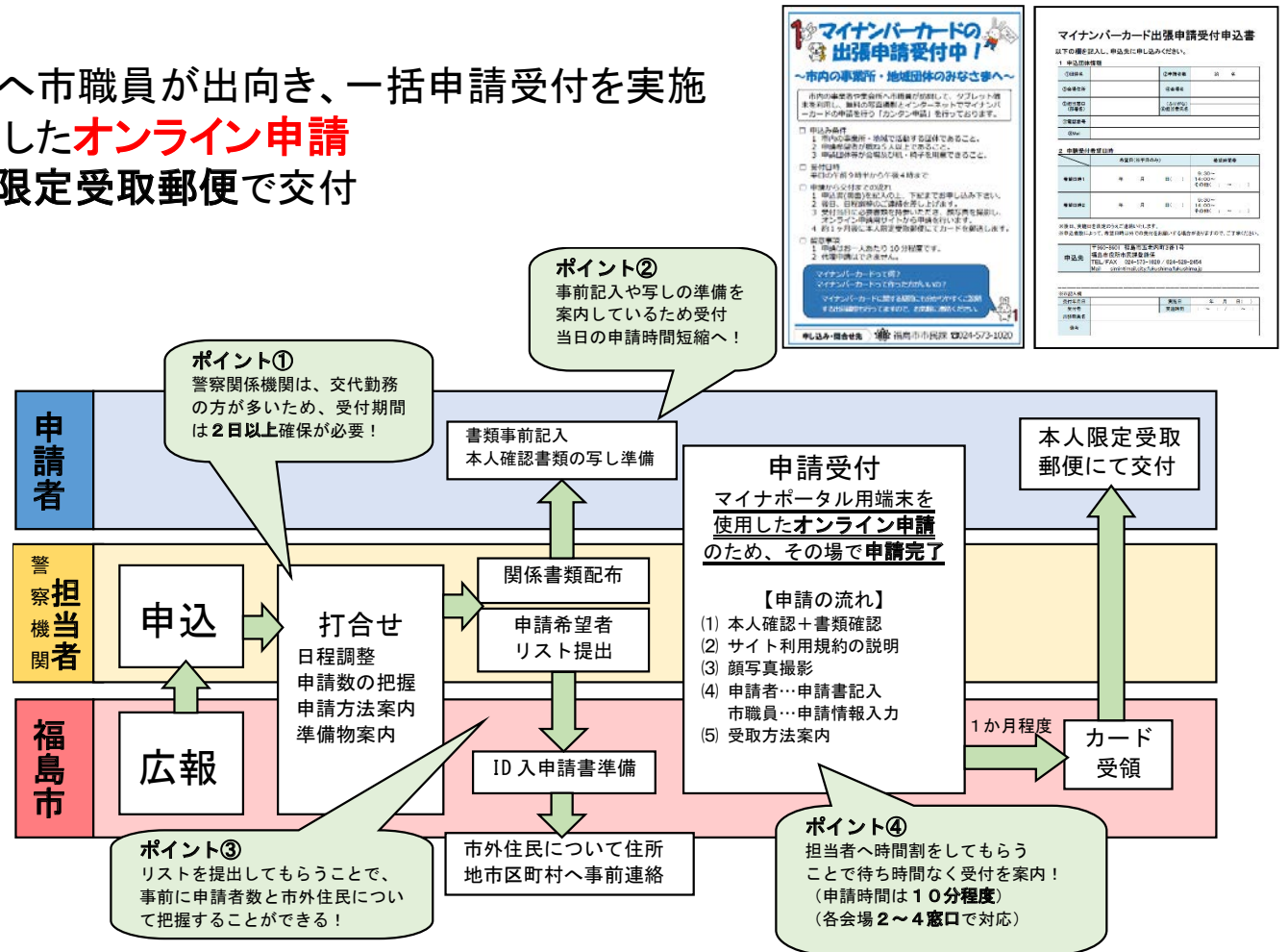
関係機関の中での情報共有等から、令和元年9月～令和2年1月までの間に7つの機関で実施。

申請受付実績

- 日数 **15日間**
(各会場 2～4日間)
- 人数 **647人**
(うち市外住民 34人)

3. 効果

- 【申請者側】 市窓口への来庁不要 自宅でカード交付を受けられる
- 【職員側】 一括申請で効率的に受付 窓口における交付事務の軽減



○小中学校へのマイナンバーカード出張申請受付(対象:教諭・調理員・事務職員)

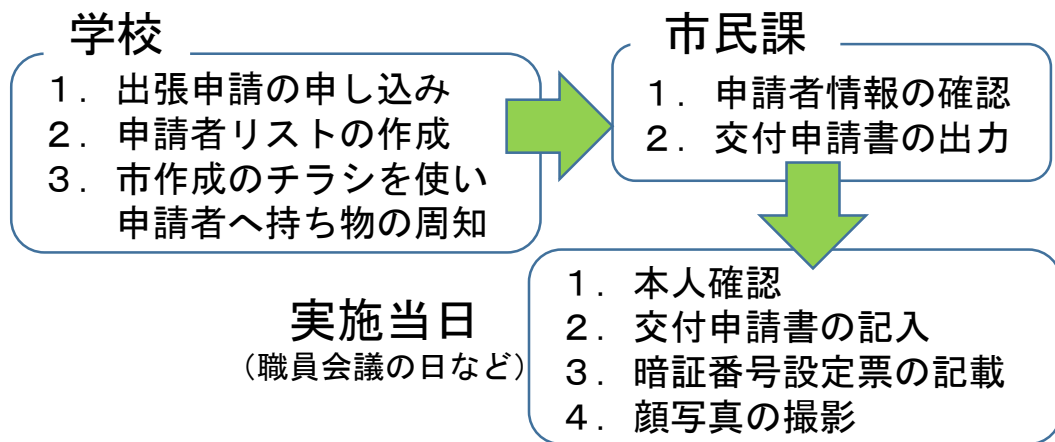
1. 概要

- 市内の小中学校に勤務する教諭・事務職員等を対象に出張申請受付を実施(他市町村住所地の方も受付)
- 手書き申請書を使用し、顔写真を撮影、本人確認を行い、通知カードを回収
- できあがったカードは学校まで持参し交付

2. 実施詳細・ポイント

- 令和元年7月に開かれた小中学校校長会で「マイナンバーカードの普及及びマイナンバーの利活用の促進に関する方針」について説明 ⇒ **市内43小中学校のうち37校から申し込みあり**

<実施フロー>



当日の様子(教室を利用)

3. 効果

- 37校を令和元年8月から令和2年1月で巡回し、810人の申請を受け付け、各学校でカードを交付した。
- 日中忙しい先生方からは、学校で受け取ることができるため、大変喜ばれた。

○市内陸上自衛隊各駐屯地・分屯地での出張申請受付・出張交付

1. 概要

- 市内にある陸上自衛隊西部方面総監部・健軍駐屯地・高遊原分屯地・北熊本駐屯地に市職員が出向き、手書き申請書を使用し、出張申請受付を実施
- 後日、再度各駐屯地・分屯地へ出向いてカードを一括交付

【ポイント①】

出張申請受付の実施を積極的に広報

2. 実施詳細・ポイント

➤ 背景

自衛隊駐屯地では、外出制限・長期間に渡る演習があり、来庁が難しいことから、自衛隊から相談があり調整し実施した。

(熊本市では出張申請受付を推進しており、近隣の市町村にお住まいの方も対象とした。)

➤ 実施の流れ

1. 隊員への事前周知(申請当日の約2週間前～)

- ◆ 市が作成したチラシの掲示・配布
- ◆ 業務隊担当者から各部隊の隊員に対して周知を実施

【ポイント②】

事前に本人確認書類の持参を周知
→当日のスムーズな申請を実現！

2. 申請受付(各駐屯地へ2日～3日間)

- ◆ 撮影会場に交付申請ブースを設置
- ◆ 隊員への写真撮影補助、申請受付を実施

【ポイント③】

各駐屯地で2日～3日間実施
→隊員間で「思ったより簡単だった」と口コミが広まり、翌月以降の事前申込も増加！

3. 出張交付

- ◆ カードが出来上がった段階で駐屯地と受取日の調整を行い、市職員がカードを駐屯地内に持ち込み本人確認を行い交付を実施



▲当日の様子

3. 効果(実績:計548人うち市外住民72人 翌月以降の事前申込あり)

- 外出制限がある隊員にとっては各区役所・役場での本人確認が難しかったため、有効な取組であった。
- 事前に必要書類の記入や準備についての周知・広報がなされていたため、短時間で多くの人数を処理することができた。
- 市外に居住する隊員分についても、本市で関係市町村と調整し実施した。

○大型スーパーでの従業員と市民を対象にしたカードの周知と出張申請受付

1. 概要

- 大型スーパーに市職員が赴いて、手書き申請書を使用し一括で申請受付を実施
- 従業員分のみ、後日、再度大型スーパーに赴いて、カードを一括交付

2. 実施詳細・ポイント

➤ 背景

- 平成30年、令和元年の7月にマイナンバーカード普及PRイベントを店舗内で実施しており、従業員向けに出張申請受付を提案したところ、快諾いただいた。

➤ 実施の流れ

1. 従業員への事前周知(申請当日の2、3週間前～)※他市町村住所地の方も受付
 - ◆ 支店長と内容や日程等を打合せし、従業員への周知用にチラシの掲示、配付を依頼
 - ◆ チラシを掲示し、従業員へ周知
2. 市民への事前周知(申請当日の2、3週間前～)
 - ◆ 店舗内に市用のポスターを掲示、市HP等に掲載
 - ◆ 家族や友人等への周知のため、市職員へ庁内文書で周知
3. 申請受付(実施期間:2日間(10時から15時まで)、対応職員数:4人程度)
 - ◆ 店舗内の人通りの多い食品売り場出入り口に交付申請ブースを設置
 - ◆ 申請者への写真撮影、申請受付を実施
4. 出張交付(従業員分のみ)
 - ◆ カードが出来上がった段階で、支店長と受取日の調整を行い、市職員が店舗に持込み、本人へ交付



3. 効果

- 勤務先で手続き出来るため、カードの申請を前向きに捉えてもらうことができた
- 従業員を通じて、従業員の家族にも周知することができた
- 出先の市職員や職員の家族も申請に繋がった

⇒ 多くの申請を受け付けることができた(実績:2日間、従業員33人、一般(他市民含む)117人、計147人)